

教 師 ノ ー ト

日付	2019年 4月14日
単元	イースター
テーマ	新天新地
タイトル	希望の天国～新しい天と地
テキスト	黙示録21:1-5、8、27
参照箇所	Ⅱ ペテロ3:13、黙示録21章
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	Ⅱ ペテロ3:13
AG 日曜学校教案参照箇所	小下2巻④12課、中学1巻②13課、中学3巻②13課、中学3巻③12課
□導入	<p>イエス様を信じている私たちは、死んだらどこへ行くのでしょうか？ヨハネはパトモス島で、聖霊によって新しい天と地である天国の幻を見て、それを書き記しました(ヨハネの黙示録)。イエス様を信じている人が行く天国って、いったいどんなところなのでしょう？</p>
□ポイント1 天国は神様が共におられるところです(21:3)	<p>ヨハネは新しい天と地である天国の幻を見ました。今、地上にいる私たちは神様を見ることはできませんが、天国では私たちは王なる神様の民となり、神様が私たちと一緒に住まわれるのです！</p>
☞この單元では、「天国」＝「新天新地」として説明しておくことが子どもたちに分かりやすいでしょう。では今、神様がおられる「天(国)」と「新天新地」の違いについて、子どもたちには以下のように説明できるでしょう。	<ul style="list-style-type: none">・「今、神様がおられる天(国)」…神様が住まわれているところ・「新天新地」…古い天と地が消え去り(黙 20:11)、神様を信じる人全員が神様と共に住むところ
☞エリクソンは「天」という言葉の意味を大きく3つ挙げています(『キリスト教神学第4巻』)。	<ul style="list-style-type: none">・天… 1. 宇宙論的な意味(創世記1:1、マタイ5:18)2. 神の同義語(ルカ 15:18、ヨハネ 3:27)3. 神の住まい(マタイ 6:9、…)
□ポイント2 天国では、全ての痛みや悪が取り去られます(21:4-5)	<p>神様は私たちの痛みや悲しみを知っておられ、慰め主として私たちの目の涙をまったくぬぐいにとって下さいます。天国ではもはや死もなく、悲しみも、叫びも、苦しみもありません！なぜなら古いものは過ぎ去り、全てが新しくなるからです。</p>
☞つらい経験などをしている子どもたちがいたなら、神様は全部知っておられること、慰めてくれることを語りましょう。天国では完全な慰めがありますが、地上では死があっても癒しや復活の希望があること、悲しみがあっても慰めがあること、叫ぶことがあっても賛美に変えて下さることなど、天国の前味が与えられていることも語ると良いでしょう。	
☞天の本質は、臨在と悪が取り去られることの他に、栄光が現わされることもあります。また天国における生活(活動)には、安息、礼拝、奉仕があります。(ミラード・J・エリクソン『キリスト教神学第4巻』)	

□ポイント3 天国は、小羊のいのちの書に名前が記されている人が入れます（21:8、27）

小羊とはイエス様のことで、いのちの書に名前が記されている人とは、イエス様を信じている人のことです。イエス様を信じていのちの書に名前が記されている人は、天国に入ることができます。イエス様の救い(十字架と復活)を信じないで、罪や汚れを持ち続けている人は、天国に入れません。

☞ 例話： どんなことをした人が天国に入れなくて、火と硫黄との燃える池の中に入れられると思いますか？……、そうだね、殺人を犯した人とかは確かに悪いよね。でも 21:8 を読むと、「おくびょう者」が罪のリストの一番にきています。「おくびょう」ってどうして一番にあげられているんだろう？……どうしておくびょうになってしまうんだろう？……そう、神様を信じきれないからおくびょうになったりこわくなったりするんですね。神様を信じる時、おくびょうは小さくなり、神様を信じきれない時、おくびょうは大きくなります。実は神様を信じない、信じきれないってことが大きな罪なんですよ。

またこの罪のリストは、こういうことを 1 回でもした人は天国にいけないってことではありません。イエス様を信じないで、ここに書いているような罪を犯し続けるとき、天国には入れないんです。でもイエス様を信じる時、小羊のいのちの書に名前が記されて、天国に行けるんです！

□結論 イエス様を救い主と信じている人は、罪がゆるされて素晴らしい天国に入ることができます。

☞ 天国への希望を語り、イエス様のことを改めて信じる決心の時を持つても良いでしょう。

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

1. イエス様を信じる決心

私たちは死んで終わりではありません。イエス様を信じていのちの書に名前が記されている人は、天国行きの切符を持っているのです。神様が共にいて死も痛み悲しみもない天国に行くのと、第2の死と言われる火と硫黄の燃える池の中に行くのと、どちらを選びますか？イエス様を信じ続けていきましょう！（注意：地獄を強調して恐怖心を起こさせるのではなく、天国の素晴らしさを強調するように語りましょう。）

2. 悔い改めの決心

イエス様のことを救い主と信じているのに、罪のリスト(子どもたちのために噛み砕きながら)に入っているようなことを、行い続けている人はいませんか？イエス様の十字架は全ての罪から私たちをきよめ、復活のイエス様は罪に勝つ力を与えてくれます。このことは神様が喜んでいないなあと思うことがあれば、お祈りの中で神様に「ごめんなさい」と悔い改めましょう。

3. イエス様のことを伝える決心

せっかく地上で家族や友だちになったのに、一緒に天国に行けなかったらさびしいよね。家族や友だちがイエス様を信じるようにお祈りをしてイエス様のことを伝えていきましょう。